

特 60

899

綾部乙  
松編輯  
新選懷中重寶記  
全

綾部乙松編輯

# 新懷中重寶記

山靜堂梓

編者 綾部乙松

特60  
899

## 卷中目錄

- 一 皇國神代
- 二 年數早見
- 三 人皇系統
- 四 御祭日並ニ略解
- 五 每年太陽曆
- 六 郵便稅則ノ略
- 七 通運會社金子遊送料
- 八 電信貨錢改正
- 九 東京橫濱間瀨車發着並ニ貨錢
- 十 六營鎮臺
- 十一 違式註違條例改正
- 十二 改正營業稅
- 十三 改正府縣概略
- 十四 証卷印紙
- 十五 上等及地方裁判所分轄
- 十六 出訴期限規則ノ略
- 十七 訴訟用紙紙用方
- 十八 東京區裁判所明治十二年改正
- 十九 勸解願心得并ニ書式ノ略
- 二十 訴答文例ノ略
- 二十一 年齡綠筆
- 二十二 年中御祭日
- 二十三 諸屆願書及諸證文
- 二十四 諸款金ノ證
- 二十五 小兒預リ證
- 二十六 養子証文之事
- 二十七 雇人請狀
- 二十八 五年季受ノ證
- 二十九 妻離綠狀
- 三十 代言委任狀
- 三十一 改印御届
- 三十二 休業届
- 三十三 送籍届
- 三十四 寄留御届
- 三十五 下宿御届
- 三十六 盜難御届
- 三十七 紛失物出品御届
- 三十八 遺失御届
- 三十九 拾物御届
- 四十 出產御届
- 四十一 死亡届
- 四十二 逃亡人届
- 四十三 留守引請人届
- 四十四 歸宅届
- 四十五 管轄替送籍願
- 四十六 轉業鑑札願
- 四十七 營業鑑札願
- 四十八 公債證書書替願
- 四十九 公債證書讓渡裡書
- 五十 地卷賣渡証印願
- 五十一 洋行願
- 五十二 人力車檢印願
- 五十三 出帆免狀願
- 五十四 船稅免除願
- 五十五 釀酒鑑札讓渡願
- 五十六 酒造高免許鑑札願
- 五十七 公債證書之本金之内幾分ヲ他人ニ讓渡ス時ノ書替願
- 五十八 隱居家督願
- 五十九 跡式願
- 六十 變死人引取願
- 六十一 墓地購求ノ願
- 六十二 養育院入願
- 六十三 荒地切起シ歟シ下免除願
- 六十四 官林御届
- 六十五 水損地免租ノ願
- 六十六 官有地拂下願
- 六十七 家録希還人へ半價御下地ノ願
- 六十八 田畑質入小作證
- 六十九 借地證
- 七十 善請支負證書
- 七十一 借家證
- 七十二 店請ノ證
- 七十三 跡式讓與證
- 七十四 借用金證
- 七十五 抵當物ノ金子借用證
- 七十六 預リ金證書
- 七十七 借用金延期證
- 七十八 賣買爲取換約定證
- 七十九 賣買爲取換約定證
- 八十 約定證書
- 八十一 買品代金借用證
- 八十二 諸品質入證
- 八十三 諸品書入證
- 八十四 家作抵當證書
- 八十五 別紙圖面
- 八十六 建物賣渡ノ證
- 八十七 地所質入證
- 八十八 實地預リ證
- 八十九 地所讓與證
- 九十 地所書入證
- 九十一 五等親並ニ忌服
- 九十二 年中十二支早見
- 九十三 金圓利足表
- 九十四 諸國道中記

## 皇國神代表

天之御中主神 高御彥巢日神 神產巢日神  
 宇麻志阿斯訶備比古遲神 天之常立神



子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

Main table containing Japanese imperial names (e.g., 神武天皇, 孝昭天皇, 孝安天皇) and their corresponding reign dates in the sexagenary cycle (e.g., 辛酉, 壬戌, 癸亥).

(三)

Table on the left side of the page, listing specific emperors and their reign dates, such as 陽成天皇, 淳和天皇, 光仁天皇, 桓武天皇, 孝謙天皇, 文武天皇, 天智天皇, 天武天皇, 元明天皇, 淳仁天皇, 平城天皇, 文德天皇, 宇多天皇, 醍醐天皇.



神嘗祭 九月十七日 宮内省... 天長節 十月三日 此御祭ハ今の上上の御誕生日ナリ... 新嘗祭 十月廿三日 此御祭ハ主上今年出来... 右の日ハ... 此御祭日ヲ祭ル...

日用 天朝節 外朝節 参賀 禮服 叙任 御召 御用 召 御召 御用 召

⑤ 毎年大陽曆の略解

八十八夜 毎年五月の一日クニ日ナリ

④ 一三五七八十二

夏至 毎年六月の廿一日クニ日ナリ

③ 二四六九十一

小暑 毎年七月の廿七日クニ日ナリ

② 一月一日

冬至 毎年十二月の廿一日クニ日ナリ

小寒

○一年ハ通例三百六十五日閏年ハ三百六十六日ナリ

節分

○四時ハ春分より夏至に至るを春とシ夏至より秋分までを夏とし秋分より冬至までを秋とシ冬至より春分までを冬とシ

春分

○一日ハ二十四時ナリ

彼岸

毎年三月十七日と九月廿一日クニ日ナリ

① 郵便税則の略

○書籍並見本 目方八匁迄二匁

書状の部

一封目方二匁迄 同十六匁四匁

府内一匁 同四匁迄

府内五匁 同外一匁

府内二匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内三匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内四匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内五匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内六匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内七匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内八匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内九匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内十匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内十一匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内十二匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内十三匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内十四匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内十五匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内十六匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内十七匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内十八匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内十九匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内二十匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内二十一匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内二十二匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内二十三匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内二十四匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内二十五匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

府内二十六匁 同四匁迄

府内一匁 同外一匁

外國郵便表大略

○信書の表面ニハ必ず横文ヲ用ヒ左ノ通り受取人ノ住所姓名ヲ記スベシ差出人ノ住所姓名ヲ記スハ無用ナリトイフ

○表記横文ノ外其詠字國字ヲ書スルヲ用ヒス  
○總テ表面ハ緻密ニ認メ封面餘白多キヲ可トス是ハ往ク先キノ郵便局ニテ印ヲ多ク捺ス者ニ無用ノ文字ヲ書シテ空白ヲ塞クベカラズ  
○切手モ此ノ形ノ通り表面右ノ方上角ニ限ルベシ

姓名	地名	府名	國名
番号	都	府	國

郵便聯約各國

○量目ハ商品見本ハオシス四分の二

外國郵便稅表大略  
郵便聯約各國

○量目ハ商品見本ハオンス四分の二  
其他の物品ハ二ポンド三オンス限リ  
○端書ハ當分の内國用端書へ應額  
の郵便切手を貼付  
○左の地名の外猶多し郵便局に問  
合セ不足稅ふき様を申

國名地名大略	信書	端書	書留	新聞	印刷物	商品見本
○國名地名大略	半オンス毎ニ	一箇ニ付	手數	過る箇	二オンス毎	二オンス毎
合衆國	五錢	三錢	六錢	二錢	二錢	二錢
香港厦門廣東汕頭	八錢	三錢	六錢	二錢	二錢	二錢
歐羅巴全大陸 其他聯約各國	十錢 香港ヲハテ 十二錢	四錢 四錢 四錢	六錢 六錢 六錢	四錢 四錢 四錢	四錢 四錢 四錢	四錢 四錢 四錢
オストラリヤ	七錢	—	—	—	—	—
布哇	八錢	—	—	—	—	—
メキシユ	十錢	—	—	—	—	—
上海及支那北部諸港	五錢	三錢	六錢	二錢	二錢	二錢

⑦ 通運會社金子遞送料

金高	五圓迄	拾圓付	二十圓付	五十圓付
凡二十五里以内	三錢	四錢	六錢	十錢
凡五十里以内	四錢	五錢	七錢	十一錢
凡百里以内	六錢	七錢	十錢	十四錢
凡五十里以内	八錢	九錢	十二錢	十六錢
凡百里以内	十錢	十一錢	十四錢	十八錢
凡五十里以内	十二錢	十三錢	十六錢	二十錢
凡百里以内	十五錢	十六錢	十九錢	二十五錢

○金子過目十匁迄の増賃

右十匁迄ノ賃申受候事

同物貨	壹錢	貳錢	三錢	四錢	五錢
二十五里以内	五厘	—	—	—	—
五十里以内	一錢五厘	—	—	—	—
百里以内	—	二錢五厘	—	—	—
二百里以内	—	—	四錢	—	—
三百里以内	—	—	—	五厘	—
以外	—	—	—	—	五厘

一公債証書爲替手形ハ通貨  
の賃十分の二申受候事  
造立駄荷四十貫目迄十里以  
内一圓八十錢余四貫目毎十八錢

但シ五十圓以下ハ五十圓ノ賃以上六十圓ノ  
割且百圓ノ量目ヲ十匁ノ積リ過目ハ

内一圓八十錢余四貫目毎十八錢

同配達料	千圓以上百圓迄	五十圓以上千圓迄
圓迄毎ニ	五厘	五厘

通貨物	貨賃
四十貫目以上十貫目迄毎ニ	壹錢五厘

○但し長尺高物箱類等別段手數の品ハ割以上五割迄の増申受候事  
○破損し易き品ハ別段御引合申候  
○届先御取調ハ十五ヶ月限りニ定候事

百圓迄	五十圓迄	十圓迄
五貫目迄	二錢	錢

百圓迄

一公債証書爲替手形ノ通貨  
 百目迄  
 五厘五厘

の貨十分の二申受候事  
但シ五十目以下ノ貨以上百目ノ  
 割目百目ノ量目ヲ十々積リ過目ハ

造立駄荷四十貫目迄十里以  
 内一圓八十錢余四貫目毎十八錢  
千圓以上百  
 圓迄毎ニ  
 四十貫目以上十  
 貫目迄毎ニ  
 壹錢五重

同配達料	貨物	貨賃	千圓以上百圓迄毎ニ	四十貫目以上十貫目迄毎ニ	壹錢五重	
五十圓迄	一貫目迄	壹錢	○但シ長尺高物箱類等別段手数数の品ニ割以上五割迄の増申受候事 ○破損し易い品ハ別段御引合申候 ○届先御取調ハ十五ヶ月限リニ定候事			
百圓迄	五貫目迄	二錢				
三百圓迄	十貫目迄	三錢				
五百圓迄	二十貫目迄	四錢				
七百圓迄	三十貫目迄	五錢				
千圓迄	四十貫目迄	六錢				
電信貸錢改正	和文 片名 十名 二十	横文 二十		神戸迄	二十五錢	一圓五十錢
東京 大阪 横濱	和文ハ片 仮名廿字 横文ハ廿語 以上一音信 と定め廿字 廿語以下と いハロー一 音信ノ料を 拂ふ	○和文ハ片 仮名廿字 横文ハ廿語 以上一音信 と定め廿字 廿語以下と いハロー一 音信ノ料を 拂ふ		姫路迄	二十七錢	二圓
東京 大阪 横濱	和文ハ片 仮名廿字 横文ハ廿語 以上一音信 と定め廿字 廿語以下と いハロー一 音信ノ料を 拂ふ	○和文ハ片 仮名廿字 横文ハ廿語 以上一音信 と定め廿字 廿語以下と いハロー一 音信ノ料を 拂ふ		岡山迄	二十九錢	二圓
東京 大阪 横濱	和文ハ片 仮名廿字 横文ハ廿語 以上一音信 と定め廿字 廿語以下と いハロー一 音信ノ料を 拂ふ	○和文ハ片 仮名廿字 横文ハ廿語 以上一音信 と定め廿字 廿語以下と いハロー一 音信ノ料を 拂ふ		尾ノ道迄	三十一錢	二圓
東京 大阪 横濱	和文ハ片 仮名廿字 横文ハ廿語 以上一音信 と定め廿字 廿語以下と いハロー一 音信ノ料を 拂ふ	○和文ハ片 仮名廿字 横文ハ廿語 以上一音信 と定め廿字 廿語以下と いハロー一 音信ノ料を 拂ふ	廣嶋迄	三十三錢	二圓	
東京 大阪 横濱	和文ハ片 仮名廿字 横文ハ廿語 以上一音信 と定め廿字 廿語以下と いハロー一 音信ノ料を 拂ふ	○和文ハ片 仮名廿字 横文ハ廿語 以上一音信 と定め廿字 廿語以下と いハロー一 音信ノ料を 拂ふ	山口迄	三十五錢	二圓	
東京 大阪 横濱	和文ハ片 仮名廿字 横文ハ廿語 以上一音信 と定め廿字 廿語以下と いハロー一 音信ノ料を 拂ふ	○和文ハ片 仮名廿字 横文ハ廿語 以上一音信 と定め廿字 廿語以下と いハロー一 音信ノ料を 拂ふ	赤馬関迄	三十七錢	二圓	

豊橋迄	十三錢	五十錢	信五錢其外 ハ十字毎 半價を増 ハ	福岡迄	三十九錢	二圓五十錢	語数ニ應 テ代と拂 ○届貨二里 以内ハ一 通 毎一錢五 重
名古屋迄	十五錢	五十圓	○東京より 横濱までハ 和文一音信 七錢其外ハ 十字毎半 價を増セ ○横文ハ東 京中一音信 十五錢其外 ハ十字毎半 價を増セ	佐賀迄	四十一錢	二圓五十錢	○二里以外 ハ郵便 届
岐阜迄	十七錢	壹圓	○東京より 横濱までハ 和文一音信 七錢其外ハ 十字毎半 價を増セ ○横文ハ東 京中一音信 十五錢其外 ハ十字毎半 價を増セ	熊本迄	四十五錢	二圓五十錢	
彦根迄	十九錢	壹圓	○東京より 横濱までハ 和文一音信 七錢其外ハ 十字毎半 價を増セ ○横文ハ東 京中一音信 十五錢其外 ハ十字毎半 價を増セ	佐敷迄	四十七錢	二圓五十錢	
大津迄	二十一錢	壹圓	○東京より 横濱までハ 和文一音信 七錢其外ハ 十字毎半 價を増セ ○横文ハ東 京中一音信 十五錢其外 ハ十字毎半 價を増セ	鹿見崎迄	四十九錢	二圓五十錢	
西京迄	二十一錢	壹圓	○東京より 横濱までハ 和文一音信 七錢其外ハ 十字毎半 價を増セ ○横文ハ東 京中一音信 十五錢其外 ハ十字毎半 價を増セ	長崎迄	四十三錢	二圓五十錢	
大阪迄	二十三錢	一圓五十錢	○東京より 横濱までハ 和文一音信 七錢其外ハ 十字毎半 價を増セ ○横文ハ東 京中一音信 十五錢其外 ハ十字毎半 價を増セ				
堺迄	二十五錢	一圓五十錢	○東京より 横濱までハ 和文一音信 七錢其外ハ 十字毎半 價を増セ ○横文ハ東 京中一音信 十五錢其外 ハ十字毎半 價を増セ				

白川迄	十一錢	同	熊谷迄	九錢	同	新潟迄	二十一錢
福島迄	十四錢	同	前橋迄	十一錢	同		
仙臺迄	十七錢	同	高崎迄	十一錢	同		
一ノ関迄	二十錢	同	上田迄	十三錢	同		
盛岡迄	二十三錢	同	今町迄	十四錢	同		
青盛迄	二十八錢	同	柏崎迄	十七錢	同		
東京横濱間瀛車發着并賃錢							

前八時 八時九時十時  
 九時十時十一時 十二時  
 十五分三十分四十五分 一時

○小児四歳迄ハ無賃十二歳迄ハ半賃  
 之費  
 ○旅客日用缺ク可ラザル小包別立  
 ノ類ニテ自ラ手ニ携ヘ得ル者ハ無賃其  
 他量用ニテ自ラ手ニ携ヘ得ル者ハ無賃其





十九條 火車場と関係なくして乗馬せし者  
二十條 裸體又ハ袒胸露背ノ者  
廿一條 戲ノ往來ノ帝燈臺と破毀せし者  
廿二條 裸體又ハ袒胸露背ノ者  
廿三條 通行ノ場示シテ道路橋梁河堤等と犯シ  
通過シテハシ者  
廿四條 明治六年三月三日廢せし者  
廿五條 男女相撲并ニ蛇遣ひ其他醜體と見レ  
物又出シ者  
廿六條 二十六年ノ如ク見苦敷醜ノ者  
廿七條 川端下水等ハ土芥瓦礫等と投棄シ  
流通ヲ防シ者  
廿八條 十一年三月二十二日刪除

註違罪目

廿九條 狹隘ノ小路と馬車と馳立シ者  
三十一條 明治六年三月三日廢せし者  
三十二條 對酌シテ馬車と疾馳セシメテ行人  
ハ迷惑ヲ掛シ者  
三十三條 人力車挽及馬車ノ御者馬丁等ノ者強  
ク乗車と御ノ過言等申掛シ者  
三十四條 馬車及人力車荷車等と往來シ置テ行人  
ノ妨ニ及ビ及ハ牛馬と街衢ヲ横行人ノ妨ケシ者  
三十五條 湯屋渡世ノ者戸口と明放テ或ハ二階  
ハ見隠蔽シ垂レシ者  
三十六條 禽獸ノ死セシ者或ハ汚穢ノ者と往來  
等ハ投棄セシ者  
三十七條 荷車及人力車行途ノ節行人ノ迷惑  
ヲ掛シ者  
三十八條 旗幟屋渡世ノ者止宿人ノ名と記載セシ  
或ハ之と届出シ者  
三十九條 喧嘩口論及ビ人ノ自由と妨ケ且警告  
ヲシテ喚開セシ者  
四十條 疎忽ニ依リ人ノ汚穢物と及ビ石礫等  
ヲ抛擲セシ者  
四十一條 明治六年七月十五日廢せし者  
四十二條 旗幟屋渡世ノ者止宿人ノ名と記載セシ  
或ハ之と届出シ者  
四十三條 喧嘩口論及ビ人ノ自由と妨ケ且警告  
ヲシテ喚開セシ者  
四十四條 疎忽ニ依リ人ノ汚穢物と及ビ石礫等  
ヲ抛擲セシ者  
四十五條 往來常道を敷テ消滅セシ者  
四十六條 明治六年七月十五日廢せし者  
四十七條 田園種藝ノ道場と場と通行シ又ハ牛馬  
ヲ牽入ル者  
四十八條 市中往來筋ニ於テ便所ニ非ズル場所ハ小  
便セシ者  
四十九條 荷車及人力車等並ハ挽キテ行人ノ  
妨ケシ者  
五十條 誤テ牛馬を放テテ人家ヲ入ル者  
五十一條 十一日四月十二日刪除  
五十二條 格子を褫テ或ハ顔面と出  
シ往來を妨ケ嘲弄シ者  
五十三條 避園及路傍の花水と折リ或ハ植物を  
害シ者  
五十四條 道傍又ハ人家ニ於テ強テ合刀を  
申掛け或ハ押賣シ者  
五十五條 男ニテ女褻シ女ニテ男褻シ  
或ハ奇佻ノ粉飾を爲シテ醜態を露シ者  
五十六條 宿ニ俳優歌舞技等ハ勿論女ノ者  
褻シテハ此限ニ及ビシ  
五十七條 明治十一年七月五日刪除  
五十八條 官林官園及ビ公園等ニ揭示セ  
ル禁條を犯シ者  
五十九條 傳染病豫防ニ関テノ諸定規  
ニ違背シ者  
六十條 猥褻ノ附會揚言シテ新聞紙ニ賣  
リ歩行シ者  
六十一條 神社佛閣又ハ他人ノ家屋壁壁等ハ  
衆書及ビ張札を爲シ者  
六十二條 往來ノ並木及ビ苗木等と徒リコ  
害シ者  
六十三條 街上ニ於テ高聲ニテ唱歌シ者  
六十四條 宿ニ歌舞營業ノ者ハ此限ニ非ズ  
六十五條 行人ノ乞力等を申掛シ者  
六十六條 他人ノ獸畜等ニ大ニ嘯シ掛ける者  
六十七條 水車水碓等ニ妨害シ者  
六十八條 他人ノ海苔棚内ハ妨ニ舟と  
入ル者  
六十九條 他人ノ藪墓等ノ供品物を猥リコ毀  
損シ者  
七十條 他人ノ眼細ハ妨害シ者  
七十一條 山林原野ニ徒リコ火を焚キ者  
七十二條 總テ標柱ノ舟筏を繫グ者  
七十三條 同八十九條 田畠中ニ瓦礫竹木を投人セシ者  
七十四條 往來並木ノ枝古鞋等と投掛ける者  
七十五條 同八十三條 水車水碓等ニ妨害シ者  
七十六條 同八十五條 他人ノ海苔棚内ハ妨ニ舟と  
入ル者  
七十七條 同八十七條 藪柱ノ舟筏を繫グ者  
七十八條 同八十九條 田畠中ニ瓦礫竹木を投人セシ者  
七十九條 同九十一條 他人ノ獸畜等ニ大ニ嘯シ掛ける者  
八十條 同九十三條 水車水碓等ニ妨害シ者  
八十一條 同九十五條 他人ノ海苔棚内ハ妨ニ舟と  
入ル者  
八十二條 同九十七條 藪柱ノ舟筏を繫グ者  
八十三條 同九十九條 田畠中ニ瓦礫竹木を投人セシ者  
八十四條 同九十一條 他人ノ獸畜等ニ大ニ嘯シ掛ける者  
八十五條 同九十三條 水車水碓等ニ妨害シ者  
八十六條 同九十五條 他人ノ海苔棚内ハ妨ニ舟と  
入ル者  
八十七條 同九十七條 藪柱ノ舟筏を繫グ者  
八十八條 同九十九條 田畠中ニ瓦礫竹木を投人セシ者

改正營業稅

第十九節

從前府縣稅及ヒ民費ノ各ヲ以テ徵  
收セル府縣費區費ヲ改メ更ニ地方  
稅トシ規則左ノ通り被定候條此旨

地租五分一以内營業稅并ニ雜種  
稅戶數割

第二條 營業稅雜種稅ノ種類及ビ  
制限ハ別段ノ布告ヲ以テ之ヲ定ム

豫算ノ立テ翌年度ノ定額トナレ其  
府縣會ノ議決ヲ取り其年五月ヲ以

明治十一年七月廿二日 大政大臣三條實美  
第一條 地方稅ハ左ノ目ニ從ヒ徵  
收ス  
年二月迄ニ地方稅ヲ以テ支辨スベ  
キ經費ノ豫算并ビニ地方稅徵收ノ

布告候事

第十九號

從前府縣稅及ヒ民費ノ各ヲ以テ徵收セシル府縣費區費ヲ改メ更ニ地方

稅トシ規則左ノ通り被定候條此旨

地租五分一以内營業稅并ニ雜種稅戶數割

第二條 營業稅雜種稅ノ種類及ビ制限ハ別段ノ布告ヲ以テ之ヲ定ム

營業稅雜種稅目下条ニ見ユ

第三條 地方稅ヲ以テ支辨スベキ費目左ノ如シ

○警察費 ○河港道路堤防橋梁建築修繕費 ○府縣會議諸費流行豫防費

○府縣立學校費及ヒ小學校補助費

○郡區廳舍建築修繕費 ○郡區吏員給料旅費及ヒ廳中諸費 ○病院及ビ救育所諸費 ○浦役場及ビ難破船諸費 ○管内限リ諸達書及ヒ揭示諸費

○勸業費 ○戶長以下給料及ヒ戶長職務取扱諸費各町村限及區限ノ入費ハ其區内町村内人民ノ協議ニ任セ

地方稅ヲ以テ支辨スルノ限ニアラス

第四條 其年七月ヨリ翌年度六月迄ヲ一周年トナレ府知事縣令ハ其議ノ初メニ於テ之ヲ府縣會議ニ報告スベシ

第三十九號

地方稅中營業稅雜種稅ノ種類及ビ制限左ノ通相定メ候條此旨布告候事

明治七年十月廿日 右大臣 岩倉具視

第一條 營業稅分ツテ三類トス其類ハ第一類ハ金拾五圓以内トシ第二類ハ金拾圓以内トシ第三類ハ金五圓以内トス其目左ノ如シ但シ國稅アルモノヲ除ク

○第一類 諸會社及ヒ諸却賣商 ○第二類 諸仲買商 ○第三類 諸小賣商及ヒ雜商

第二條 雜種稅ハ其種類ニ依リ各個ニ稅額ヲ定ム其目左ノ如シ

船明治七年第廿一號布告船稅規

マノ分(明治七年第廿一號布告ト云ハ解漁船并川海小廻船等船稅規則ナリ採要スルニ〇一解漁船并川

一ヶ年金二千四以内 喬麥屋 同

遊船宿 同 一ヶ年金五圓以内

芝居茶屋 同 湯屋 同

入寄布 同 理髮床 同

第三條 漁業稅採藻稅各地往來價例依之ヲ徵收ス

第一條 地方稅ハ左ノ目ニ從ヒ徵收ス

年二月迄ニ地方稅ヲ以テ支辨スベシ

經費ノ豫算并ビニ地方稅徵收ノ豫算ヲ立テ翌年度ノ定額トナレ其

府縣會議ノ議決ヲ取り其年五月ヲ以テ内務卿及ビ大藏卿ニ報告スベシ

其未ダ府縣會議ヲ設置セザル地方ハ直一内務卿及ビ大藏卿ニ報告スベシ

第五條 非常ノ費用ハ豫算ニ立ルヲ得ザル天災時變ノ費用ヲ云乙別

賦課スルヲ得ルト雖モ其府縣ノ議決ヲ取り内務卿及ビ大藏卿ニ報告スルハ第四條ノ順序ニ從フベシ

其急施ヲ要スル事項ハ施行レテ報告スベシ但報告期限ハ第七條ニ依

告スベシ

第七條 地方稅徵收ノ期限ハ府知事縣令適宜ニ之ヲ定ムベシ

第七條 府知事縣令ハ每年七月ニ至リ其一周年年度間ノ出納ヲ計查シ

精算張及ヒ計表ヲ製シテ内務卿及ビ大藏卿ニ報告スベシ且翌年通常會議

船ハ積石ノ多少ヲ問ハズ其他五十石未滿海船ノ類一艘毎ニ船梁ヨリ

船梁迄ノ延ニ長間數ニ應シ左ノ通年々四月中迄ニ稅金相納ノ可申事

但曲尺六尺ヲ以テ一間トシ間ニ不滿端數ハ切捨候事

一船梁ヨリ長三間迄ハ一ヶ年稅金二十錢

以上長一間ヲ加ル毎ニ拾五錢ツ、ヲ增加納稅可致事

國稅ノ半額以内

馬車 同 遊覽所 同

人力車 同 諸遊枝場 同

荷積馬車 同 大弓 同

荷積大七 同 楊弓 同

大八車 同 射的 同

荷積牛車 同 吹矢 同

諸市場 同 料理屋 同

演劇 同 西洋料理屋 同

諸與行 同 待合茶屋 同

乘馬 一ヶ年二頭ニ付金一四以内

自用渡世共

第三條 漁業稅採藻稅各地往來價例依之ヲ徵收ス

船明海七年第五号告示	ワノ分(明治七年第廿一号告示ト云ハ鮮漁船并川海小廻船等船税規則ナリ採要スルニ〇一鮮漁船并川	一年金二十円以内	蕎麥屋	同	兼馬	一ヶ年二頭二付金一四以内			
遊船宿	一年金五圓以内	湯屋	同	自用渡世共	諸市場	以內五百分五	料理屋	古市	
芝居茶屋	同	理髮床	同	第三條 漁業税採藻税各地往來慣例依之ヲ徴収スニ若其例規ヲ改正シ又新法ヲ創設セテスルモ存知事縣令ヨリ内務大藏兩卿(稟議スヘシ	同	待合茶屋	同		
一年金十五円以内	雇入請宿	同	同	第四條 有知事縣令有縣會議決シ以テ第條條類自中於賦課ス者ヲ取捨スルコトヲ得	同				
質屋	一年金十二円以内	遊藝師匠	同	第五條 凡ソ稅額ニ年ヲ以テ其制限ヲ定ムト雖モ各地便宜依リ年額ニ準據シ白稅月稅トシテ之ヲ徴収スルコトヲ得	同				
兩換屋	同	遊藝稼人	同	第六條 一軒内於テ數種ノ營業ヲ爲スモ又印賣仲買小賣ヲ兼スルモ其稅額ノ最モ多キモ一個ノミヲ徴収スレ	同				
為替店	同	相撲	同	第七條 凡ソ稅額ニ年ヲ以テ其制限ヲ定ムト雖モ各地便宜依リ年額ニ準據シ白稅月稅トシテ之ヲ徴収スルコトヲ得	同				
廻漕店	同	同	同	第八條 第四條第五條ニ於テ確定シタル課目課額ハ府知事縣令ヨリ内務大藏兩卿ニ報告スヘシ	同				
古着古金	同	同	同		同				
一ヶ年金十円以内	俳優	同	同		同				
書畫骨董店共同	一年金六十円以内	同	同		同				
旅籠屋	同	同	同		同				
諸飲食店	同	同	同		同				
古道具類商	同	同	同		同				
鍛屋	同	同	同		同				
鮮屋	同	同	同		同				

改正府縣概畧表

東京府	幸橋内	福島縣	岩信夫郡	七十里
京都府	山城野郡	宮城縣	代官城郡	四十里
大坂府	攝西成郡	岩手縣	陸盛岡郡	四十里
神奈川縣	武久長岐郡	青森縣	陸律輕郡	二十里
兵庫縣	攝八部郡	秋田縣	後羽秋田郡	四十里
長崎縣	肥彼杵郡	山形縣	羽村山郡	九十五里
新潟縣	越前湯原郡	石川縣	加石川郡	二十里
埼玉縣	武浦和郡	島根縣	雲島根郡	九十里
群馬縣	野前馬郡	岡山縣	備御野郡	六十里
千葉縣	下千葉郡	廣島縣	安沼田郡	四十里
茨城縣	常茨城郡	山口縣	防吉數郡	二百六十八里
椛木縣	野下都賀郡	和歌山縣	紀和歌山郡	一百六十二里
堺縣	和泉大鳥郡	高知縣	土佐高知郡	二百九十里
三重縣	勢安濃郡	愛媛縣	伊温泉郡	二百四十里
愛知縣	尾愛知郡	福岡縣	筑那珂郡	三百十里
靜岡縣	駿安部郡	大分縣	前福分郡	三十六里
山梨縣	甲山梨郡	熊本縣	肥飽田郡	三百三十五里
滋賀縣	近滋賀郡	鹿兒島縣	後鹿兒島郡	三百八十里
岐阜縣	濃厚見郡	開拓使	石松幌郡	二百六十里
長野縣	信水内郡	沖繩縣	琉中山郡	六百七十八里

証券印紙類第一

〇賣品並職ノ受取書  
 右十圓以上一錢印紙  
 〇預金証文手形  
 〇預金証文  
 〇遺金証文  
 〇印紙  
 右五圓以下  
 〇預金証文  
 〇遺金証文  
 〇印紙  
 右五圓以下  
 〇預金証文  
 〇遺金証文  
 〇印紙  
 右五圓以下

滋賀縣	近江別所村	百廿八丁	鹿兒島縣	薩摩鹿兒島	九里四丁
岐阜縣	濃尾見郡	百三十三丁	開拓使	石札幌郡	百二十六丁
長野縣	信濃郡	五十八丁	沖繩縣	琉球中山首里	六百七十八丁

証券印紙類第一

- 賣品並職ノ受取書 右十圓以上一錢印紙
- 預金証文手形 耕地小作証文○遺金証文 右十圓以上一錢印紙以下界紙
- 質物預リ証或ハ小札 右十圓以上一錢印紙
- 荷物送り状○跡式讓状
- 荷物預リ証○會社株切手
- 地所建家讓リ與ヘ証
- 物品讓リ與証書
- 公債証書類讓リ與証 右金高ニ均ハラズ一錢印紙

第二類

- 備用証文○預リ金証文
- 地所並建家賣渡証書
- 左質入或書入証文
- 公債証書類賣買証文
- 諸品質入或ハ書入証文
- 為替手形並置手形
- 荷為換手形○諸受負証文
- 金錢約定証文
- 全為取替証文
- 米穀諸品賣買約定証文
- 米借用証文○稚穀借用証
- 賣買諸品以上借用証文
- 借地借家証文
- 十圓以上記載雇人受状
- 諸賣買証概金預リ手形
- 諸敷金文

上等裁判及地方裁判所分轄表

東京	大坂	宮城	長岑	東京府	千葉縣	茨城縣	水戸	名古屋	新潟縣	大坂	兵庫縣	神戶	松山	松江	弘前	福島	長岑	鹿兒島
東京府	東京府	東京府	東京府	東京府	千葉縣	茨城縣	水戸	名古屋	新潟縣	大坂	兵庫縣	神戶	松山	松江	弘前	福島	長岑	鹿兒島
横濱	横濱	横濱	横濱	横濱	浦和	静岡	静岡	松本	京	高知	岩國	仙臺	函館	熊本縣	熊本縣	熊本縣	熊本縣	熊本縣
神名川縣	神名川縣	神名川縣	神名川縣	神名川縣	群馬縣	群馬縣	群馬縣	群馬縣	群馬縣	群馬縣	群馬縣	群馬縣	群馬縣	群馬縣	群馬縣	群馬縣	群馬縣	群馬縣

出訴期限規則ノ畧

- 貸借と始り何事ヲモ勘弁と加へ出訴と見合候トシテトシテモ久クも問ハ受人證人の内或ハ死亡シ又ハ失踪ノ者も有之不都合ニ付左ノ期限内出訴せざる者ハ自分ノ条約と取消する者ト見做シ受取るべき權利を失ひ候事 但一意解
- 第一條 六ヶ月
- 学務ノ授業料
- 旅籠料
- 商人互ノ賣掛金
- 運送賃
- 職人ノ手間代金
- 飲食料
- 日雇人ノ給料
- 手附金
- 木戸錢又棧敷代
- 請負金
- 勢者の楊代金
- 醫師ノ診察及ヒ藥料
- 養育料
- 條約書中期限ある者ハ出訴の日ト

新訟用罰紙用方

- 第一金穀ノ類 十六行十五字詰あり
- 金十圓
- 米五石
- 以下 壹枚壹錢
- 以下 壹枚二錢

- 金百圓
- 米五拾石
- 以下 壹枚三錢

○木戸錢又棧敷代 ○請負金  
○勢者の楊代金  
第 二 條 一ヶ年  
○醫師の診察及び藥料  
○期限なき年金及び生涯の年金  
○小作米金 ○證據金  
○敷金  
○養育料 ○條約書中期限なき者ハ出訴の日を

⑤ 訴訟用野紙用方  
第一金穀の類 十六行十五字詰あり  
金十圓 以下 壹枚壹錢  
米五石 以下 壹枚壹錢  
雜石十石 以下 壹枚壹錢  
金百圓 以下 壹枚壹錢  
米五十石 以下 同 二錢  
雜石百石 以下 同 二錢  
金五百圓 以下 同 三錢  
米二百五十石 以下 同 三錢  
雜石五百石 以下 同 三錢  
金千圓 以下 同 四錢  
米五百石 以下 同 四錢  
雜石千石 以上 同 五錢

○人事の類 家督差子雇人壹枚  
等の訴訟 壹錢六厘  
○土地建物類 地所境界建 同  
家の訴訟 一錢四厘  
以上三條の類 同  
○雜事の類 一切の訴訟ハ一錢二厘  
原告の呼出状 同  
其外原告の支通 五厘  
同裁許状野紙 納き金

○土地井建物の類 同 二錢八厘  
○雜事の類 同 二錢四厘  
○訴訟中裁判所より原被告人呼出  
用ふる野紙及び裁許状野紙員數の定  
價ハ由者より三日の内ニ裁判所ニ辨  
納き金

○東京區裁判所明治十二年改正  
○築地管轄 日本橋區 京橋區 伊豆七島  
○巴町管轄 芝 區 麻布區 赤坂區  
荏原郡 東多摩郡  
○富士町管轄 麴町區 四ッ谷區 牛込區  
小石川 本郷區 南豊島郡  
○二長町管轄 神田區 下谷區 淺草區  
南足立郡 北豊島郡

○林町管轄 本所區 深川區 南葛飾郡  
○勸解願心得并書式の略  
○民事の訴訟ハ金額十圓以下  
○刑事の訴訟ハ懲役廿日以下  
○勸解を乞ふ者ハ訴状を作るに及ば  
ば直ニ該廳に提出で其事由を陳述せ  
るを要す  
○勸解ハ双方とも必や本人自くら出  
頭せべし但し疾病事故等よて已を得  
ざる時ハ其代人として親戚又ハ定り  
たる雇人を出すべき  
○凡そ民事は係るものハ金額多少の  
輕重に拘へらば訴訟人の情願に任せ  
勸解せべし  
○無證據并丁卯印の貸借出訴期限

○願の筋御聞取被告への呼出状  
を御渡し相成る時ハ早速被告  
ハ相渡し左の証を取る事  
半紙一枚に認む

記  
一御呼出状 一通  
右正受取申候明何日何所區裁判所へ  
我等より御状返上可仕候依り受取証  
如件  
何區郡 何町何丁目何番地  
明治何年何月日 何の誰  
何の誰殿  
右ハ原告方へ爲念取置迄なり

○御呼出の日被告人不參せ

頭もべし一病一疾病事故等にて已を得ざる時ハ其代人として親戚スハ定りしる雇人を出さべし

○凡そ民事に係るものハ金額多少の輕重に拘はらば調訟人の情願を任せ勸解せべし

○無證據并丁卯申の貸借出訴期限過ると雖も勸解せざる事

○凡そ裁判所の呼出を受くる者疾病等の事故ありて遅参又ハ不参する時ハ其事故を詳記し呼出期限迄ニ其裁判所へ届出べし若右期限を過ぎて届出る歟又ハ無届にて遅参不参すると

さハ裁判官に於直ニ五元以上十圓以下の罰金を科せべし

○勸解を願ふ人とする者ハ左の書式を做し半紙一枚ニツ折し認め被告所轄の區裁判所の印に差出さ時ハ其御調より郵紙を下けらる、故に各前書の通認り出さ其時御掛りの姓と番号を示さる夫より御呼込小なるなり但し保人ありハ委任状を持参せべし

何區何郡  
何町何丁目何番地  
原告人 何の誰  
被告所  
何の誰  
貸金滞り  
品物取戻  
約定違變  
其外何、カ  
何區何郡  
何町何丁目何番地  
原告人 何の誰  
被告所  
何の誰  
貸金何十圓  
利子金何圓  
合計金何十何円  
明治何年何月日

但し二度目出頭ハ出さざれば

○訴状の定則抄書

○訴状を簡明確実として證據とあそべき事件を掲げ文飾冗長ならざるを注意し自己の想像を以て跡迹なき事件を述るを得ば○訴状ハ凡そ左の難形の順序に従い一行十五字詰め十六行に認め二通を出さべし

○訴状の末に署する氏名ハ其本人自ら書きべし若し自書する能はざるときハ其旨を代筆の肩記をへし○被告人の住所裁判所の八距離の外に在るときは其里数を被告人の氏名に左

御呼出状  
我等より御状返上可仕候依テ受取証如件  
何區何郡  
何町何丁目何番地  
明治何年何月日  
何の誰

○御呼出の日被告人不参せしむるハ不参の旨を御掛りへ上申し不参し付御呼出願を左の通認訴所口へ差出さべし

第何千何百何拾何号  
何の某殿御掛り  
不参御届  
何區何郡  
何町何丁目何番地  
御喚出願  
被告所  
何の誰  
右者本日延期御喚出當日不参仕候し付明何日本人御呼出被下度奉願上候以

○濟口よりなりたる節ハ左の通り認め訴所口詰へ差出さべし

第何号  
何區何郡  
何町何丁目何番地  
原告人 何の誰  
被告所  
何の誰  
貸金  
品物取戻  
勸解濟口御届  
約定違變  
何區  
何町何丁目何番地  
原告人 何の誰  
被告所  
何の誰  
我共何の儀御勸解奉願御説諭基  
濟方相成候間此般御届申上候以上  
年月日  
右  
何の誰  
同  
何の誰  
東京何區裁判所長  
判事補何の某殿

賣掛代金滞りの訴状

賣掛代金滞りの訴  
住所  
原告人 氏名  
住所  
被告所  
被告所  
氏名  
一 金何圓  
右賣掛帳の總高ニ御坐候  
但帳面ニ被告人の証印有之候  
若証文方ハ其全文を寫す  
年月日  
住所  
氏名印  
代書人 氏名印  
某  
御裁判所

○答書の定則略

○被告人裁判所の呼出状と共に原告の訴状を受取る時原告人の陳述する所條理あらば速に熟儀し原告

形の順原出定の行十五字詰め

年月日 氏名印

十六行に認め二通を出さべし  
の訴状の末に署する氏名ハ其  
本人自から書さべし若し自書  
ざる能はざるるときハ其旨を氏  
名の肩記をへし○被告人の住所裁  
判所の八距離の外に左るとき  
ら其里数を被告人の氏名に左  
則し記載をべし

代書人 氏名印  
御裁判所

○答書の定則略

○訴答文例の畧  
○表紙書式 美濃紙の用  
年月日 氏名

○被告人裁判所の呼出状と共に原  
告の訴状を受取る時原告人の陳述  
する所條理あらば速に熟儀一原告  
人ニせし許諾せば解訟を請ふを  
得也一其時ハ熟議解訟の答書  
を裁判所は差出さべし○原  
告人の述る処非理不実よりて  
辨解をへき確証ある其書類の全文  
を寫載一次に非理の事を書さべ  
し凡左の如し

○何れの訴状  
年月日 住所 氏名

○答書の式  
何れの答  
住所 氏名

○訴状書式

○答書の式

何々の訴  
原告人 住所 氏名  
標記云々 住所 氏名  
被告入 氏名  
右原告人氏名申上候私  
儀云々  
年月日 氏名印

何々の答  
被告入 住所 氏名  
右住所身分何之誰何の儀訴出候  
三付今何日御呼出しの御状拜見住  
御答申上候  
私儀云々  
証據の書類あらば其寫を記載せし  
右之通御坐候  
年月日 住所 氏名印  
代書人 住所 氏名印

某  
御裁判所  
代書人 住所 氏名印

某  
御裁判所  
代書人 住所 氏名印

○貸金催促の訴状

○對決前熟儀解訟の答式

貸金催促の訴  
原告人 住所 氏名  
一元金何圓 年月日 期限  
一利金何圓 一年又二月  
幾分之利  
合何円何拾錢  
右証文の寫左の如し  
借金何圓 借主 住所 氏名  
右云々 借入 住所 氏名  
貸主名宛  
右原告人氏名申上候云々  
御裁判所 住所 氏名印

何れの訴濟口の答  
被告入 住所 氏名  
右住所身分何之誰何之儀訴  
出候三付今何日御呼出しの御状  
拜見住原告人へ熟談濟方仕候  
趣申上候  
私儀云々  
年月日 住所 氏名印  
代書人 住所 氏名印  
前書被告入何之誰申上候通熟議  
濟方仕候此上對決の御裁斷不  
幸願候  
年月日 住所 氏名印  
原告人 住所 氏名印  
代書人 住所 氏名印  
御裁判所

Calendar table with columns for 年 (Year), 月 (Month), 日 (Day), 時 (Hour), 分 (Minute), 秒 (Second). Includes a vertical label '誕生' (Birth) and a circled '誕生' (Birth).

人に生産の年月を  
異なると云へとも  
大陰曆の久しきに



御裁判所

御裁判所

御裁判所

氏名印  
住所  
身分  
氏名印

年		齡		線		算		表	
一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月
十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月
九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月
七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月
五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月
三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月
十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月
九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月
七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月
五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月
三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月	十一月	十二月
一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	十月

人に生産の年月を  
異なると云へども  
大陰暦の久しきに  
習ふて正月の生る  
も十二月三十日小  
生るも是を驟して  
一歳と算ふハ旧風  
のふありを

大陽暦の今日に至りて更ニ十二月を算して満一歳と  
称することハありきされハ三歳と称へ六月生れも二月の  
當り線る時ハ算表の右のあり六月より算へ上の横に  
ある二月の下に當る數則ち一歳と九ヶ月あり三歳の者六  
月に當るくれハ又誕生月の処より左りへ算へ六月と何  
る直下に至る 則ち二歳と一ヶ月とあるへ以下何年に  
ても誕生前の月追ハこれまその年より二歳をへる線  
きハもみやのふとのるあり

年中御祭日記

〇一月

一月一日 四方拜

一月四日 新始祭

一月五日 新年宴會

〇二月

二月一日 春日祭ヤマト 枚岡祭カハチ

二月二日 鵜戸祭ヒツカ

二月四日 祢年祭班幣

二月八日 大原野祭ヤマシロ

〇三月

三月一日 出雲祭イツモ

三月十六日 廣田祭ツノクニ

三月十八日 宇佐祭ブゼシ

三月廿日 春季皇靈祭 春季神殿祭

〇四月

四月一日 大和祭ヤマト

四月二日 松尾祭ヤマシロ 平野祭ヤマシロ

四月三日 梅宮祭ヤマシロ

四月四日 廣瀬祭ヤマト 龍田祭ヤマシロ 護国祭ヤマシロ

三月廿日 春季皇靈祭 春季神殿祭

○四月

四月一日 大和祭ヤマト

四月二日 松尾祭ヤマシロ 平野祭ヤマシロ

四月三日 梅宮祭ヤマシロ

四月四日 廣瀬祭ヤマト 龍田祭ヤマシロ 護王祭ヤマシロ

四月九日 大神祭ヤマト 稲荷祭ヤマシロ

四月十四日 日吉祭アウミ

四月十五日 加茂祭ヤマシロ

四月十八日 吉田祭ヤマシロ

○五月

○六月

六月一日 丹生川上祭ヤマト 貴船祭ヤマシロ 東照宮シモツケ

六月四日 神宮月次祭 幣帛發遣

六月十五日 八坂祭ヤマシロ 札幌祭イシカリ

六月廿一日 熱田祭ヲハリ

六月三十日 住吉祭ツノクニ 大被

○七月

七月一日 建勳祭ヤマシロ

七月十日 安房祭アハ

七月十二日 湊川祭ツノクニ

○八月

八月一日 氷川祭ムサシ

八月四日 北野祭ヤマシロ

八月十三日 大鳥祭イツミ

八月十五日 男山祭ヤマシロ 鹿兒島祭サツマ名和祭ハウキ

八月十八日 鹿島祭ヒダチ

八月二十日 香取祭シモツケ 謙倉祭サガミ

八月廿五日 藤島祭エチゼン

○九月

九月九日 生國魂祭ツノクニ

九月十五日 石上祭ヤマト

九月十七日 神宮嘗祭

九月十八日 豊國祭ヤマシロ

九月十九日 霧島祭オ、スミ

九月廿一日 白峰祭ヤマシロ

九月廿二日 井伊谷祭トヲトヲミ

九月廿三日 秋季皇靈祭 秋季神殿祭

九月廿六日 國懸祭イキ

○十月

九月十九日 霧島祭オ、スミ

九月廿一日 白峰祭ヤマシロ

九月廿二日 井伊谷祭トヲトヲミ

九月廿三日 秋季皇靈祭 秋季神殿祭

九月廿六日 國懸祭イキ

○十月

十月七日 赤間祭ナガト

○十一月

十一月七日 水無瀬祭

十一月十日 新嘗祭班幣

十一月十七日 談山祭ヤマ

十一月廿二日 鎮魂祭

十一月廿三日 新嘗祭

○十二月

十二月四日 神宮月次祭 幣帛發遣

十二月十五日 大祓

諸屆願書及諸證文

諸敷金之證

一金何圓 右ハ今般貴殿へ建家貸渡候ニ付書面之敷金請人立會正ニ受取預リ置候処正也返金ノ儀ハ來ル何年何月建家貸渡満期ニ付無相違返金可致候若シ其節本人差支候ハ、請人引受無淹滞返弁可致候仍テ其證如件

年月日 預主 宿呀 何誰印 請人 何誰印

小兒預リ證

今般貴殿御小兒乳養ノ夕メ我等方へ御預ケ被成爲養育科月々米金何程ツ、被贈遣之約定実正也隨分大切ニ御撫育可申候若乳汁不足致候ハ、早速御引取相願申候若又御小兒取扱方不宜候節ハ何時御取戻被成候トモ聊故障申間敷爲後日仍如件

年月日 預リ人 宿呀 何誰印 妻 誰 何誰殿

養子証文之事

貴殿御實子何之誰儀今般我等養子ニ貫受候處実正也然ル上ハ我等実子出生致候共右誰惣領一相立

年月日 實受人 何誰印 証人 何誰印

在入請狀

借地證 何誰印 同 證人 何誰印 組合 何誰印 宿呀 何誰殿 前書之通相違無之候ニ付致與印候也 年月日 右區 戶長 何誰印 何國何郡何村 何番地 何坪 但開口何間 一宅地 何坪 但與行何間 此借地料 但壹ヶ年何口程 金何拾圓

渡期限毎年 何月何日 何月何日 右之宅地貢租地入賃ニ不拘本日ヨリ向來ル何年何月迄滿何ヶ年借地居住可致答ニ取極候処相違無之候就テハ前書地借料取極ノ通每期相濟可申候若シ其節本人差支候ハ、請人引受無延滞弁償ハ勿論速ニ地呀明渡可申候且居住中諒呀正副戸長之指令ニ隨ヒ間口割等之人費無違背出金可致候仍テ其証如件 年月日 第何大區何郡 何呀何番地 借主 何誰印

請人 何誰印 何呀何區 何呀何呀 何誰印 何某殿

普請交員證書

③養子証文之事  
貴殿御實子何之誰儀今般我等養  
子二貴受候靈實正也然上八我等  
實子出生致候共右誰惣領一相立

間口割等之入費無違背出金可致  
候仍テ其証如件  
第何小區何郡  
何呀何善地  
借主 何誰印

跡或讓渡可申候為後日如何行  
年月日 實受人 何誰印  
証人 何誰印

請人 何誰印  
何誰何區  
何誰何呀

④在入請狀  
何縣管下何區何郡何村何番地  
住居 何誰何 某何何  
何年何月何日出生 何誰何  
右ノ者我等請入ニ相立何年何月  
何年何月何月迄清何ノ年間御  
給金之儀ハ何程ノ約ヲ以テ貴殿  
ハ何處ニ差出候必實正也為取換  
金何程渡被下正ニ奉掌仕候殘金  
之儀ハ追々當人申出次第可被下  
候若シ期限中此者御取被下候歟  
又ハ本人無換事故相起リ御取申  
受候節ハ月次ニ應シ御給金差引  
御渡可被成候右之通り相違無之  
候間期限中本人身上ノ儀ハ一切  
我等引受御貴殿ハ御心旁相懸申  
間敷候為後日其証仍テ如何件  
年月日 請人 何誰印  
証人 何誰印

⑤普請文員證書  
一何普請 但別冊仕様帳示  
此代價總計金何百圓  
此受取方  
為當日本日受取  
普請出金之額可受取  
本何月何日限致切是候引  
之上可受取  
右之普請別冊仕様帳之通書面代  
價ニテ請負者手金受取候處確實  
也殘金受取方ハ前書記載之通且  
落成之儀ハ來ル何月何日限無相  
違成功引渡可申候尤建築中何様  
之手戻ニテ致損失候共増金等央  
レテ不申請若シ漏之場呀有之  
候ハ仕様帳之通手直ニ屹度相  
渡可申候万一本入仕上不行届節  
ハ請入引受期日之通成功可引渡  
候仍テ右證書如何件  
年月日 請負人 何誰印  
受人 何誰印

⑤年季受之證  
一此誰儀拙者幾男ニ候處令般  
業傳慣ノ為メ本年何月ヨリ來ル  
何年何月マテ滿何ノ年期ニ相定  
ノ貴殿方ニ弟子奉公ニ差出レ申  
出実正也為手當金何程只今落手  
仕候御仕着ハ二季ニ被下候苦尤  
勤練熱之上ハ為御礼何年間為相  
勤可申約若シ年限中不都合之儀  
有之御取被下候歟私方ヨリ無換  
事情ニテ御暇申文候節ハ前書手  
當金速ニ返却仕貴殿方ニ練熟  
致候職業御構被成候儀屹度承諾  
仕候為後日如何件  
年月日 宿所 何誰印  
木人 何誰印  
請人 何誰印

⑥借家證  
何回何郡何所  
一建家幾棟 但梁間桁行其他別紙之通  
此家賃  
金何拾圓 但老ケ年金何圓極  
渡期限每年 何月何日  
右之建家本日ヨリ來ル何年何月  
何日迄借家居住可致苦取極候  
何日迄借家居住可致苦取極候  
相納可申候若シ其節本人差支候  
ハ證人擔當無延滞并償ハ勿論  
建家速ニ明渡可申候且居住中談  
听正副戸長之指令ニ隨ヒ間口割  
等之入費無違背出金可致候仍テ  
如何件  
年月日 借主 宿所 何誰印  
請人 何誰印

⑥毒離縁狀  
其許儀何々ニ付致離縁候向後何  
方ハ縁付候ト其儀ニ付テ決レ  
テ苦情無之就テハ送籍候仍テ離  
縁狀如何件  
年月日 誰 何誰印

⑦店請之證  
一此誰儀儀行狀端正ナル者ニ付  
拙者証人ニ相立貴殿御差配ノ内  
一ヶ月金何程ト相定毎月幾日限  
リ無違背相納可申方一差支候節  
ハ拙者引受辨全可申候尤右店  
御入用之節ハ從實命為明渡可申  
候且時々之御布令堅ク為相守候  
ハ勿論假令ハ親戚タリ任一夜之  
止宿凡テ人寄等無届ニテ為致申  
問敷何事ニ不限事故相起リ候ハ  
拙者并決貴殿ハ聊御迷惑相懸  
申間敷仍テ其証如何件  
年月日 借主 宿所 何誰印  
身分 何誰印

⑦代官委任狀  
拙者何之誰ハ關スル金銀債  
之訴詔一件ニ付何之誰ヲ以テ部  
理代入ト相定メ拙者之名義ヲ以  
テ左之權限之事ヲ代理為致候事  
一何之誰ハ係ル預金差滞訴訟之  
件  
右代理委任狀如何件  
年月日 誰 何誰印

⑧改印御届  
私実印破損候ニ付新判仕即別紙  
印鑑相添此段御届申上候也  
年月日 姓 名 何誰印

印鑑○ 何某

⑧跡式讓與證  
一田畑家財一式 何誰印

年月日 証人 印

私印破損候ニ付新判仕即別紙  
年月日 姓名 印

印鑑相添此段御届申上候也  
年月日 姓名 印

何區 區役所 御中 郡役所 御中  
何町何番地 誰 印  
右是這何營業仕居候處自今休業  
致候依之御鑑札送納仕候此段御  
届申上候也  
年月日 誰 印

右之者儀令般何區何町何番地へ  
移轉候旨申入候間送番波成下度  
此段御届申上候也  
年月日 誰 印

右之者何大區何小區何町何番地  
何之誰方へ下宿候間此段御届申  
上候也  
年月日 誰 印

○其容貌衣類ナド認ル時ハ詳カニ記スベ  
シ○若シ賊ノ遺物等アラハ詳カニ記ス  
被盜品目録  
内何回貨幣或ハ紙幣又新紙幣  
衣類 何枚  
何品 何何個  
右紛失致候趣何年月日幾日何々  
之次第ヲ以テ御届申上置候矣右  
之物品何々ノ詳ニテ出品ニ相成

年月日 証人 印

批者弁決貴殿へ聊御迷惑相懸  
申間敷仍テ其証知件  
年月日 借主 何 誰 印

何誰殿  
一田畑家財一式 歟  
一何々營業式 歟  
一何々株 歟  
但別紙明細書之通  
右ハ批者所有之處令般示談之上  
保證人立會貴殿讓渡候處確實也  
然ル上ハ此証書ヲ以テ總テノ手  
續經由シ自今相續可被成候共証  
依テ如件  
年月日 誰 印

前書讓渡ニ付批者共立會致保證  
候上ハ後日何様之事故出来候  
ト批者ト引受御迷惑相懸申間  
致候也  
保証人 何 誰 印

諸證書文例摘要之部  
一借入金證 但利子 元金何圓ニ付  
此抵當  
右之金子請人立會正ニ受取致借  
用候處確實也返辦之儀ハ來ル何  
年月日何日限リ前書定ノ利足差  
加へ元利共返可致候若シ其節  
差支候ハ充置候抵當物賣價ノ  
少三不拘請人ニ於テ引受無遅  
帶辨濟可致候仍テ其証知件  
何縣何區何郡何町  
借主 何 誰 印  
借人 何 誰 印

一金子借用證  
但利足元金十圓ニ付ヶ月金何程  
右ハ要用ニ付前書ノ金子借用候  
處確實也返金ノ儀ハ來ル何年月  
月何日限リ無相違皆済可致候  
一連滞致候節ハ證人擔當迄度弁  
金可致候爲後共証知件  
年月日 借主 何 誰 印  
借人 何 誰 印

○預リ金證書  
但利足元金十圓ニ付ヶ月金何程  
右之通正ニ受取預リ置候處確實  
也然ル上ハ前書取極之利足年々  
何月何日限リ相渡可申候尤モ元  
金ハ入用次第何時ニテモ無差支  
返戻可致候仍テ其証知件  
何縣何區  
何郡何町  
借主 何 誰 印  
借人 何 誰 印

年月日 証人 印

一衣類  
內綿入絹何  
單衣何何  
一何品  
何何何何  
何何何何

也然ル上ハ前書取極之利足年々  
何月何日限リ相渡可申候尤モ元  
金ハ入用次第何時ニシテモ無差支  
返戻可致候仍テ其證如件

一何品  
右紛矢致候趣何年何月幾日何々  
之次第ヲ以テ御届申上置候ハ右  
之物品何々ノ譯ニテ出品ニ相成  
候間御届之次第御取消之程奉  
願候以上

右ハ何之誰借用金批者請人ニ相  
立本日限リ返期之處本入返金差  
支ニ付テハ金于調達中來ル何月  
何日迄延期文問批者致借用候  
確實也期月返金致候上ハ右誰  
リ差入候借用證書共一同返却可  
被成候仍テ其證如件

一何品  
右之品今何日午前後何時頃何町何  
番地何誰方ハ要用有之參越候途  
中ニ於テ遺落有之候間拾揚申候  
依之共儘持參致候間御査被成下  
度此段早速御届申上候以上

一何品  
右之通賣渡候苦致約定候處実正  
也依テハ采ル何月何日限リ無相  
違殘金引換右品相渡可申候期限  
ニ至リ若シ及違約候ハ、前書于  
附金相戻之猶償トメ金何圓無違  
背相渡可申候仍テ其證如件

一何品  
批者妻儀今幾日午前後何時分幾  
子カ女出生仕候此段御届申上候也  
年月日  
住所  
何  
誰  
印

一何品  
此代價  
金何百何圓  
内金何圓  
為手附預リ置候  
右之通賣渡候苦致約定候處实正  
也依テハ采ル何月何日限リ無相  
違殘金引換右品相渡可申候期限  
ニ至リ若シ及違約候ハ、前書于  
附金相戻之猶償トメ金何圓無違  
背相渡可申候仍テ其證如件

一何品  
右之著昨午前後何時頃何々  
一用事有之申越候時頃  
リテモ歸宅不候故夫々心當  
処探索改候得其行衛更ニ不相分  
候猶精々速穿繫可申候得共先ハ  
不取取此段御届申上候以上

一何品  
此代價  
金何百何圓  
内金何圓  
為手附預リ置候  
右之通賣渡候苦致約定候處实正  
也依テハ采ル何月何日限リ無相  
違殘金引換右品相渡可申候期限  
ニ至リ若シ及違約候ハ、前書于  
附金相戻之猶償トメ金何圓無違  
背相渡可申候仍テ其證如件

一何品  
右之著昨午前後何時頃何々  
一用事有之申越候時頃  
リテモ歸宅不候故夫々心當  
処探索改候得其行衛更ニ不相分  
候猶精々速穿繫可申候得共先ハ  
不取取此段御届申上候以上

一何品  
此代價  
金何百何圓  
内金何圓  
為手附預リ置候  
右之通賣渡候苦致約定候處实正  
也依テハ采ル何月何日限リ無相  
違殘金引換右品相渡可申候期限  
ニ至リ若シ及違約候ハ、前書于  
附金相戻之猶償トメ金何圓無違  
背相渡可申候仍テ其證如件

一何品  
私儀何ニ付何処地ハ旅行仕候ニ  
付留守中之儀一切右誰ハ為心得  
置申候諸御達等總テ同人ハ御達

一何品  
此代價  
金何百何圓  
内金何圓  
為手附預リ置候  
右之通賣渡候苦致約定候處实正  
也依テハ采ル何月何日限リ無相  
違殘金引換右品相渡可申候期限  
ニ至リ若シ及違約候ハ、前書于  
附金相戻之猶償トメ金何圓無違  
背相渡可申候仍テ其證如件

小取取此段御届申上候以上  
年月日 何身分 何 某 印  
區役所 或 郡役所 御中

①留守引請入届

私儀何ニ付何処地へ旅行仕候ニ  
付留守中之儀一切右誰へ為心得  
置申候諸御達等總テ同人へ御達  
シ有之候様致度候依之此段御届  
申上候以上  
住所族籍  
年月日 氏名印  
區郡役所 御中

②歸宅届

私儀去ル何月何日願濟之上何地  
へ旅行仕候用事相濟今幾日歸  
宅仕候此段御届申上候也  
住所  
年月日 氏名印  
區郡役所 御中

③管轄替送籍願

原籍 何 誰  
妻 何 誰  
子 何 誰  
右ハ何々ニ付何府縣何地へ管轄  
替致度依テ送籍御取計相願候也  
年月日 現今 宿所 誰 某 印  
區郡役所 御中

④轉業鑑札引替願

宿所 何 誰  
私儀此迄何業渡世罷在候処自今  
何商賣ニ轉業致度依之鑑札御引  
替奉願候  
⑤營業鑑札願  
住所身分 何 某  
私儀今般何々商營業仕度尤御規  
則諸事堅相守可申候間何卒鑑札  
御下ケ渡被下候様奉願候  
⑥公債證書々替願  
私儀何府縣何町何誰ヨリ別書金高  
之證書ヲ讓受候ニ付テハ私姓名  
ニ御書改被下候様奉願候以上

⑦公債證書讓渡裡書

併ニ與書  
一此證書是迄拙者所持之處貴殿  
へ讓渡候事實正也  
年月日 何府下 何區何村町 甲 某 印  
何番地 乙 某 殿  
本文之通相違無之者也  
何府縣 公債掛 何ノ某印

⑧地券賣渡証印願

裡書  
表書之地所今般何因何郡何村何  
誰へ地代金何百圓ヲ以テ賣渡申  
度存候御聞濟之上ハ同人名前之  
御印ヲ御印換被成下度依之村

限ニ至リ若シ及返約候ハ前書  
半附金ハ其儘相流シ猶返約之債  
金何圓無遲延出出可申候仍其  
證如件

⑨約定證書

何區 何郡何町 何誰 印  
何郡何町 何誰 印  
何番地 誰 男 弟  
何 之 誰 女 妹  
年月日 誰 印  
右ハ先般借用金ニテ本日限リ返  
期少處無據事故出来返金差支ニ  
付前書誰勞力ヲ以テ右負債致債  
還度及示談候處確實也依テハ米ル  
何日ヨリ何年何月何日マテ滿一  
ケ年間貴殿方へ差遣シ勤勞為致  
候尤モ本人疾病亦ハ不都合之舉  
動有之節ハ早速引取拙者勤勞ヲ  
以テ右金額無滞相償可申候且ツ  
悉皆償還相濟候上ハ先般差入候  
借用證書共一同返却可被成候仍  
テ其證如件  
何府縣 何區 何誰 印  
何郡何町何番地 何誰 印  
右誰父兄 何誰 印  
年月日 同所 何誰 印  
右請人 何誰 印

⑩買品代金借用證

何郡何町 何誰 印  
一何物品 何程  
此代金何百圓  
内金何十圓 本日渡  
右物品買受正ニ受取候處確實也  
殘金渡方ハ儀ハ來ル何月何日限  
リ無相違相渡可申候仍テ其證如  
件  
何府縣 何區 何誰 印  
何郡何町何番地 何誰 印  
借主 何誰 印  
同 證人 何誰 印  
年月日 何誰 印

⑪諸品賃入證

何郡何町 何誰 印  
何郡何町 何誰 殿  
此賃入 元金拾圓ニ付一ケ  
月金何程  
右之通貨賃入書面之金子證人立會  
正ニ受取致借用候處確實也但賃  
入期月之儀ハ來ル何月何日限前  
書之利足差加ハ物品引換返金可  
致候若シ其節返金差支候ハ、右  
物品無断ニテ不苦貴殿所有一可  
被成候仍テ其證如件  
何府縣 何區 何誰 印

⑫諸品書入證

何郡何町何番地 何誰 印  
何郡何町 何誰 印  
何郡何町 何誰 印  
何郡何町 何誰 印

本文之通相違無之者也

何府

公債狀

何ノ其印

年月日 何ノ其印

地券賣渡証印願

表書之地所今般何国何郡何村何

誰へ地代金何百圓ヲ以テ賣渡申  
度存候御聞濟之上ハ同人名前之  
御証券下御引換被成下度依之村  
役人連印ヲ以テ此段奉願候以上

年月日

賣渡人

何誰印

買受人

何誰印

戸長

何誰印

地方廳宛

洋行願

本貫

姓

年

名

右誰儀今般自費ヲ以當何年何月  
何何來ル何年何月ヲ行何何年何月  
何術修業ノ為米因へ差遣度何卒  
願之通御聞濟被下置候様此段奉  
願候也

右父

何誰印

修業願人

何誰印

引受人

何誰印

人力車

何輛

但何人乘

右ハ今般新調致候間御檢印被成  
下度奉願候以上

出帆免狀願

明治何年何月何日當港入津

積名何々

何何何何何村誰誰

或誰誰

兼

記

一品名

何百何十石

合何百石

何百何十束

右之通當何郡土産物積載候間何

港船御改呀へ相廻リ出港稅相納

出帆御免狀御下渡相願申度候間

御檢査奉願候以上

年月日

何九船頭

何誰印

船稅免除願

一田船

何間

壹艘

右ハ耕耘一途ニ相用候間船稅免

除之御檢印被成下候様仕度尤外

稼業ニハ一切相用申間敷依之此

段奉願候也

年月日

何之誰印

何府知事

何誰殿

前書之通相違無御坐候也

戸長

姓名印

釀酒鑑札讓渡願

可持人

何某印

可持人

何某印

護受人

何某印

戸長

何某印

酒造高免許鑑札願

當何年

石何千何百何拾石

何縣管下何因何郡何村

何某印

致候若シ其節返金差支候ハ、右  
物品無斷ニテ不苦貴殿所存ニ可  
被成候仍テ其證如件

何府

何區

何誰印

年月日

何誰印

何府

何區

何誰印

諸品書入證

但利足

元金何圓

何月何日

何程

右之通書入書面之金子請人立會

正ニ受取致借用候處確實也然ル

上ハ來ル何年何月何日ヲ期シ元

利一同返濟可致候若シ其節返金

差支候ハ、書入之物品請人引受

無遲滞返并河致候仍テ其證如件

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

致候若シ其節返金差支候ハ、右  
物品無斷ニテ不苦貴殿所存ニ可  
被成候仍テ其證如件

何府

何區

何誰印

年月日

何誰印

何府

何區

何誰印

諸品書入證

但利足

元金何圓

何月何日

何程

右之通書入書面之金子請人立會

正ニ受取致借用候處確實也然ル

上ハ來ル何年何月何日ヲ期シ元

利一同返濟可致候若シ其節返金

差支候ハ、書入之物品請人引受

無遲滞返并河致候仍テ其證如件

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印

何府

何區

何誰印





地所領入證

一生何所 何商其同后 何某 此實入 第一何地卷之證 何國何郡何所

右ハ去ル何年ヨリ何病ニテ身休 何國何郡何所 何某 何國何郡何所

相成旦夕貧窮ニ相迫リ致方無之 何番 一何地何反何畝何步 實入之地

サリトテ外ニ厄今ニ可相成身寄 此地價金何圓 但合反別ノ記

以私病氣全決マテ養育院入被仰 右之地所券證相添賃地ニ相渡シ

付被下置候様備ニ奉歎願候以上 書面之金子正ニ受取致借用候処

年月日 願人 某 印 確実也年季ノ儀ハ本日ヨリ來ル

何所何番地 某 印 何年何月何日迄滿何年ニ相定賃

荒地切起シ歟シ下免除願 入中地租地入費等給テ御出金何

何國何郡何村内字何々 兼候ハ、御規則之通地券證書換

一地坪何百畝 持主 若 誰 地所共可引渡候仍テ其證如件

右ハ先年暴風雨之節堤破損致シ 年月日 同 實主 何誰印

海潮打込之夕爲ノ、破損ニ變換候 何番 實主 何誰印

一付免租相成候處御檢査上御聞 親類 何誰印

届ニ相成其節起返シ之目途相定 證人 何誰印

早々可伺出吉被仰聞候ニ付御請 前書之通相違無之ニ付致、與印候

仕候則右費用方法等別冊之通御 也 年月日 右所戶長 何 誰 印

坐候依之歟下何年御免租被成下 何區 實地預リ證 何誰印

度此段奉願候 何番 實主 何誰印

何國何郡何村 右所 實主 何誰印

字何々御林 一何所之内 何誰印

一及別何程 此地代金何程 一何所之内 何誰印

一木數何本 但查反歩ニ付何程 一何所之内 何誰印

此代金何程 但松板檜雜木目通り何 一何所之内 何誰印

尺廻リヨリ何尺廻リ迄 右地券之證實入期限中大切ニ預

平均何本ニ付何程 也 年月日 何誰印

右之通り入札仕候處相違無御坐 何番 實主 何誰印

候落札相成候上ハ立木代ハ即金 年月日 何誰印

地代金之儀ハ五ヶ年賦ヲ以テ上 何番 實主 何誰印

納仕ヘク候以上 何番 實主 何誰印

地所領入證

年月日 何誰印

水損地免租之願 誰 印

何國何郡何村字何々 持主 誰 印

一田何十畝歩 何國何郡何村 誰 印

右ハ去何月中何川出水川欠ノ節 也 年月日 何誰印

沙磧押込悉皆野地成ニ變換仕勿 相願地所共引渡可申候且此讓與

論作宅ハ一粒ニ無御坐候處以當 二付後日如何様之儀出來候トモ

檢査ノ次第ニ御坐候間何卒實地御 貴殿ハ御迷惑相懸申間敷候依テ

段奉願候以上 其證如件 何所何番地 何誰印

元何々官有地 何國何郡何村何地内 議主 何誰印

反別何町何反何畝歩 公園 山林 親類 何誰印

此相當代價何程 野沢 湖沼 何誰印

右ハ私放牧ノ養魚之目途ニテ私様 前書之通相違無之依テ與印候事

地ニ仕度何卒御拂下々被下候様 一何何百圓 但利足 月金何程

奉願候以上 何所 何誰印

年月日 何所 何誰印

家祿奉還人へ半價御拂下 何國何郡何所 何誰印

社寺上地 何國何郡何村何地 何誰印

一及別何程 何國何郡何村何地 何誰印

此相當代價何程 何國何郡何村何地 何誰印

此半金何程 何國何郡何村何地 何誰印

右ハ後來生活ノ目途ヲ以テ私有 何番 實主 何誰印

地ニ御拂下奉願候御聞届被下候 會正ニ領取致借用申候處確明也

年月日 何誰印

何番 實主 何誰印

一何地何反何畝何步 但書入地所數筆ヲ

此地價金何百圓 筆限別紙ニ記載シ

右之地所書入前書之金円請入立

會正ニ領取致借用申候處確明也

年月日 何誰印



五等親

外甥(服七日) 會孫(服七日) 孫(服七日) 外孫(服七日) 舅姨の

妻の父母(忌服) 姑の子(忌服) 外孫(忌服)

子(忌服) 玄孫(忌服) 外孫(忌服)

女婚忌服

年		中		十		支		早		見		支		早		見	
十二月	十一月	十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月	十二月	十一月	十月	九月	八月	七月
亥	戌	酉	申	未	午	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌	酉	申	未	午
子	亥	戌	酉	申	未	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌	酉	申	未	午
丑	子	亥	戌	酉	申	未	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌	酉	申	未
寅	丑	子	亥	戌	酉	未	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌	酉	申	未
卯	寅	丑	子	亥	戌	酉	未	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌	酉	申
辰	卯	寅	丑	子	亥	戌	酉	未	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌	酉
巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌	酉	未	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌
午	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌	酉	未	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥
未	午	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌	酉	未	巳	辰	卯	寅	丑	子
申	未	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌	酉	申	未	巳	辰	卯	寅	丑
酉	申	未	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌	酉	申	未	巳	辰	卯	寅
戌	酉	申	未	巳	辰	卯	寅	丑	子	亥	戌	酉	申	未	巳	辰	卯

諸國道中記東海道

今年利一割二分の割り元金五百五十圓貸一年の利ヲ見ル

利金六十六圓

東京	品川	川崎	静岡	岡崎	大万屋清一郎	岡崎	桔梗屋半三郎
品川村田屋傳右門	品川村田屋傳右門	川崎會津屋五兵衛	岡崎	岡崎	大万屋清一郎	岡崎	桔梗屋半三郎
品川村田屋傳右門	品川村田屋傳右門	川崎會津屋五兵衛	岡崎	岡崎	大万屋清一郎	岡崎	桔梗屋半三郎



板本酒 屋勘平	宮越 泉屋新助	合渡 七ツ屋伴次郎
輕井澤 三度屋又八郎	福島 キヌ屋吉兵衛	美江寺 九屋宅藏
沓掛 土屋九藏	上松 白木屋五右門	赤坂 大升屋平吉
關原 蝦夷屋忠次郎	鳥平 大藤屋孫太夫	草津 野村屋安兵衛
今須 大黒屋勘助	高宮 丁子屋松兵衛	大津 龜屋新六
柏原 境屋兵助	越川 竹子屋重兵衛	京
醒井 土屋徳右門	武佐 米屋孫兵衛	
番場 合羽屋喜兵衛	守山 笹屋六郎兵衛	

北海道

千住 倉屋長右門	雀宮 花屋正作	笠石 鈴木屋國松
竹塚 龜屋長吉	宇都宮 手塚屋五郎兵衛	須加川 仙臺屋治右門
草加 岩城屋長七	白澤 清水屋方吉	郡山 河崎屋弥兵衛
大澤 玉屋彦右門	氏家 布袋屋市兵衛	高倉 泉屋吉右門
粕壁 國田屋七右門	喜連川 山田屋徳藏	本宮 天野屋京之助
杉戸 中屋源兵衛	作山 大玉屋正太郎	二本松 大野屋伊右門
幸手 足袋屋弥七	大田原 川嶋屋安右門	八丁 自張金屋與右門
栗橋 會津屋三平	鍋カケ 煙草屋保二郎	清水 糺屋清太郎
古河 紙屋幸太郎	越堀 藤田屋源藏	福嶋 湯野屋喜十郎
野木 笹屋久右門	芦野 塚屋彦兵衛	瀨上 繩屋久作
間々田 青木屋儀三郎	白坂 岩井屋弥作	赤折 大和屋彦三郎
小山 小倉屋伊助	白川 皆川屋新八	越田 佐竹屋仙助
小金井 塚河屋郡造	小田川 伊勢屋岩二郎	越川 山口屋恒三郎
石橋 伊澤屋正八郎	矢吹 曙屋榮二	齊川 佐藤屋文吉

白石 カン屋留次	吉岡 森屋幸之助	郡山 吾妻屋平助
林田 泉屋慶次	三本木 鈴木屋徳之丞	盛岡 齊藤屋市太郎
金瀬 鈴木屋弥吉	古川 新田屋權右門	沢氏 橋屋儀兵衛
大川原 八嶋屋清七	アラマ 佐藤屋午	沼宮 廣田屋幸助
舟迫 大沼屋吉十郎	高清水 中村屋惣十郎	一戸 勝屋仁兵衛
槻木 加藤惣右衛門	築立 鈴木屋吉右門	福岡 古屋治兵衛
岩沼 渡邊屋佐藏	宮野 佐々木屋彦助	金市 藤村屋茂兵衛
増田 大村屋俊藏	金成 坂本屋彦兵衛	三戸 藤村屋茂兵衛
中田 渡辺屋兵藏	有壁 佐藤屋力次	浅水 関口屋又吉
長町 太友屋七右門	一関 龜屋万右門	五戸 伊勢屋勘之丞
松嶋 扇屋弥右門	前澤 岩淵屋又右門	藤嶋 佐々木屋弥兵衛
高木 品川屋八郎兵衛	水澤 大泉屋長藏	七戸 盛田屋與左門
小野 扇屋市之助	金ヶ崎 佐藤屋三右門	野辺地 野坂與二郎兵衛
矢本 長谷川屋嘉七	黒沢尻 和村屋幸藏	小湊 高崎屋六兵衛
七北田 櫻井屋三藏	花巻 瀬川屋庄八	野内 竹内屋忠兵衛
富谷 氣仙屋龜次	石鳥谷 後藤屋直助	青盛 小川庄右衛門

東京ヨリ甲府道

新宿 万屋弥三郎	甲東 小松屋貞四郎	石和 伊勢屋徳兵衛
高井戸 武藏屋伊兵衛	丈目 笹屋源兵衛	甲府 佐渡屋幸男
府中 信州屋九兵衛	鳥沢 カラリ屋角三郎	並崎 塩屋平八
日野 柏屋諳四郎	猿橋 大黒屋小八	鵜澤 上田屋清右門
八王子 大坂屋喜右門	駒橋	臺原
駒木野 山本ヤ徳右門	大月	切石 松坂屋利兵衛

東京ヨリ甲府道

新宿 万屋弥三郎	甲東 小松屋貞四郎	石和 伊勢屋徳兵衛
高井 武藏屋伊兵衛	犬目 笹屋源兵衛	甲府 佐渡屋幸男
府中 信州屋九兵衛	鳥沢 カラリ屋角三郎	並崎 塩屋平八
日野 柏屋諳四郎	猿橋 大黒屋小八	鵜澤 上田屋清右門
八王子 大坂屋喜右門	駒橋	臺原
駒木野 山本ヤ徳右門	大月	切石 松坂屋利兵衛
小仏 鈴木ヤ藤右門	花咲	下山 三井屋隆三郎
小原 小松屋彦一郎	白野	身延山 升屋金右門
與瀬 小林屋六兵衛	笹子	南部
吉野 大房屋清十郎	駒飼 森田屋市兵衛	金沢
関野 鶴屋藤助	鶴瀬	松野
上原 喜久住与右門	勝沼 西池田屋種吉	岩淵
窪川 本組屋清兵衛	栗原 湊屋理平次	
東京ヨリ成田道	大和田 升屋十兵衛	佐倉
行徳 シガラキ	臼井 菊屋八右門	成田中 屋音兵衛
船橋 海老屋忠右門	酒々井 中屋半兵衛	

成田ヨリ香取追内里

朽木 ヨリ宇都宮道	宇都宮ヨリ日光道	宇都宮ヨリ日光道
朽木 鈴木屋善兵衛	安塚 大久保屋慶次	
壬生 綿屋金之助	宇都宮 手塚屋	

高崎ヨリ伊香保温泉道

徳郎 三浦屋喜平	大澤 宮本屋源藏	今市 大橋屋寛平
日光 泉屋金平		
高崎ヨリ伊香保温泉道	水澤	伊香保

草津温泉道

神山岡田屋平内	大戸 田中屋瑳一郎	長原 宮崎屋徳四郎
三倉戸塚屋恭次郎	須ヶ尾 丸山屋忠四郎	草津

温泉場

山本屋十一郎	湯本屋平内	黒岩屋忠次郎
坂上屋治郎	湯本屋安平	澤渡 湯本屋太十郎

福嶋ヨリ山形鶴ヶ岡道

福嶋 完戸屋	湯原 黒沢屋	清水 海東屋嘉右門
瀬上 大嶋屋松右門	猶下 亀屋	本合海 相沢屋幸藏
幸折 丸屋	山形 芝田屋傳七	古口
小坂 丸屋	山形 芝田屋傳七	清川 加藤屋守介
上杉 秋田屋	天童 會沢屋	狩川
下杉 秋田屋	楯岡 江戸屋	藤嶋
渡瀬 三升屋	土生田	鶴ヶ岡 伊勢屋藤右門
関 糶屋運七	尾花淡 万年屋	
滑澤 菊地屋	芦澤	

高崎ヨリ新沼道

高崎 塚屋安郎	二居 富澤屋清右門	今所 河内屋清右門
金古 神保屋泰平	二俣 地田屋七雄	三條 綿屋太郎兵衛
湯沢 湯沢 大和屋源兵衛		加茂 五泉屋佐右門

滑澤	菊地屋	尾花沢	万年屋
関	桃屋 運七	芦澤	
高崎	越後屋	舟形	本谷海近新道有リ

高崎	高崎 塚屋 安郎	二居	富澤屋清右門	今所	河内屋清右門
金古	神保屋 泰平	二俣	地田屋 七雄	三條	綿屋 太郎 兵衛
北牧	寺嶋屋 傳兵衛	湯沢	大和屋 源兵衛	加茂	五泉屋 佐右門
横堀	飯塚屋 勘兵衛	関	油屋 宗兵衛	田上	
中山新田	平形屋 治右門	塩澤	大塚屋 周藏	矢代田	湯屋 伊兵衛
塚原	松屋 五兵衛	六日町	松屋 守次郎	新澤	熊野屋 伊右門
湯宿	越定宿	五市	藤屋 三右門	五泉	
須川	梅澤屋 正吉	浦佐	丁子屋 與右門	分田	
相又	福田屋 彦右門	小出嶋	川端屋	中嶋	
猿京		堀ノ内	田中屋	水原	信濃屋 三郎
永井	泉屋 十兵衛	川口	中屋	亀田	荒木屋 長次郎
浅貝	三條屋 源右門	妙見	米屋	沼タリ	米屋 奥次郎
		六日市		新瀧	秋田屋 清六
		長岡	渡辺屋 傳八		

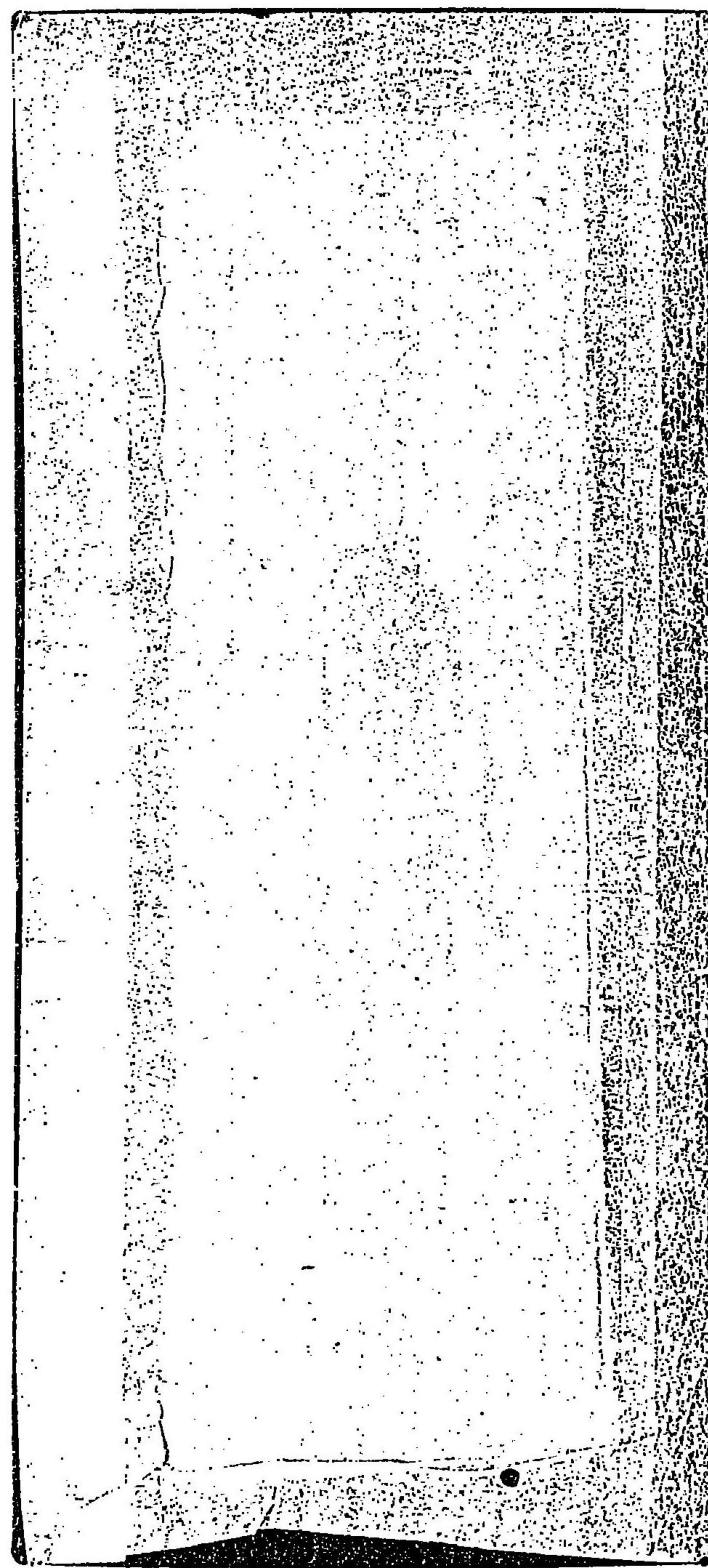
追分ヨリ善光寺道	小諸	巴屋 六右門	戸倉	柳沢屋 嘉一郎	長野	坂口屋 茂右門
	田中	宮下屋 兵右門	八代	松崎屋 平右門	善光寺	
	坂本	中沢屋 四郎	舟波嶋	樽屋		

明治十二年三月三十一日御届 同四月十日出版 定價廿五

編輯人 東京府士族 綾部 乙 松  
 出版人 同 平民 山崎 清七  
 日本橋区 小傳馬町三丁目十六番地

今日用字辨

此書ハ御布告新聞及尺牘作文ノ熟語ヨリ日用之俗語并ニ方今  
 必用之諸器財命名等ニ至ルマテ毎字兩點ヲ附シ首音ニ因テ  
 りハ分ケニ掲載シ引索ニ便ナラシメ又巻末ニハ諸願届雜形并ニ  
 證書文例ヲ加ヘ實ニ萬民必用之書也





新

東 京 國 書 館

新

函 七

部

架 一

十

類

號

特60

899

101885-000-6

特60-899

新選懷中重宝記

綾部 乙松 / 編

M12 ..

EAE-0582

